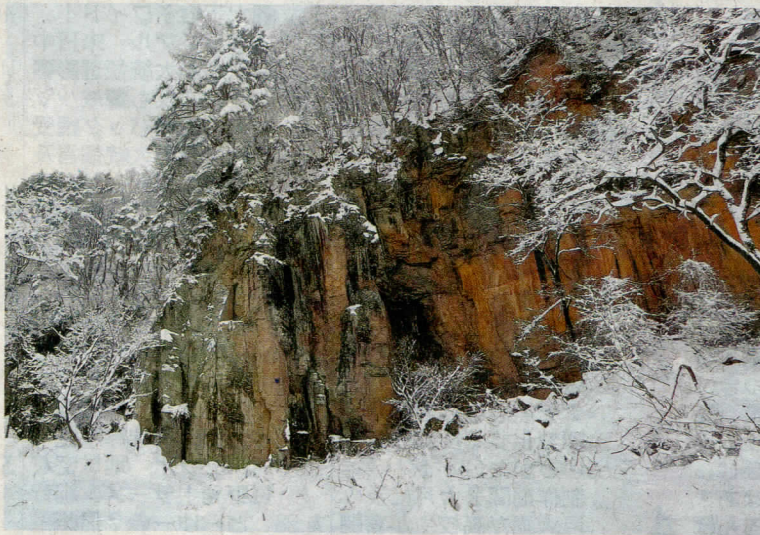


東山地域里山活性化プロジェクトと諏訪塾

鉄平石採掘跡 「幕岩」知って



諏訪市四賀普門寺の住民有志らでつくる「東山地域里山活性化プロジェクト」と、諏訪地方の歴史や文化を発掘・発信する「諏訪塾」は10、11の両日、東山地域にある鉄平石採掘跡の「幕岩」をライトアップする。午後6時から9時まで高さ30m超、幅100m超にわたる平石の壁に8基の照明を当て荘厳な雰囲気をつくり出す。

(鮎沢健吾)

10、11日ライトアップ

幕岩は昭和の中期まで約200年間、鉄平石の採掘が行われた。プロジェクトは昨年、びょうぶのようにそそり立つ幕岩の壮観な眺めが復活。諏訪盆地を一望する眺望地にもなった。諏訪の自然と産業の関わりや歴史を物語る遺産であり、諏訪塾がより多くの人に知ってほしいと、ライトアップを提案した。

プロジェクトの伊藤為幸代表によると、冬は隙間から染み出す湧き水が凍って氷瀑も

10、11の両日「ライトアップする鉄平石採掘跡の「幕岩」

現れる。先日の大雪で周辺の木々は雪化粧。諏訪塾は「赤っぽい部分もあれば、黒々とした所もある。岩肌のさまざまな表情を楽しんでもらえたい」としている。

霧ヶ峰方面に通じる県道諏訪茅野線沿い、諏訪湖カントリークラブ下に位置する。数十台分の駐車スペースを整備しているが、雪が残り、ライトアップの時間帯に麓から見上げたり、西山方面から眺めたりすることも推奨。「四季折々の風情がある。ライトアップで幕岩の位置を知ってもらい、他の季節にも足を運んでくれたら」と話す。問い合わせは塾長の五味光一さん(電話070・83323・2107)へ。

霧ヶ峰方面に通じる県道諏訪茅野線沿い、諏訪湖カントリークラブ下に位置する。数十台分の駐車スペースを整備しているが、雪が残り、ライトアップの時間帯に麓から見上げたり、西山方面から眺めたりすることも推奨。「四季折々の風情がある。ライトア